

令和3年度新型コロナウイルス感染症地方創生臨時交付金活用事業実施状況

(円)

No	補 ・ 単	事業名	総事業費 (A) = (B) + (C) + (D)	交付金充当 経費 (B)	国庫補助額 (C)	一般財源等 (D)	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業効果
1	単	国保診療所換気設備 導入事業	5,624,300	5,624,000		300	①各診療所では夏場の猛暑時や冬期間などは窓を開けての換気が難しい状況があるため、既存のエアコンから「換気ができるエアコン」に更新し、受診者や医師が安心して利用できる環境を整備する。 ②換気機能付きエアコンの導入 ③西会津診療所16台、群岡診療所2台、奥川診療所2台	R3.4.1	R3.12.13	換気機能付エアコンを整備したことにより、夏場・冬場に窓を開けずとも来院者等に負担等な効率的に換気ができるようになり、新型コロナウイルス感染症の院内感染の可能性を減少させ、患者・来院者が安心して過ごせる環境が整えられた。(換気機能付エアコン:20台)
2	単	国保診療所感染防止対 策事業	3,126,574	3,126,000		574	①西会津診療所におけるトイレや手洗い場の水道及び室内照明について、既存の設備をセンサーによる非接触型に変更し、患者や医療従事者間の接触感染を防止する。また、西会津診療所正面玄関の内側ドアについて自動ドアに変更し接触感染を防止する。 ②(1)水道蛇口交換(配管・電気工事含む) タイプA(水のみ)7箇所…トイレ男1女2、診察室2、 点滴室1、待合室1 タイプB(温水兼用)2箇所…処置室、エコー室 (2)照明交換(取付工事含む) 男子トイレ…ベースライト1基、ダウンライト1基 女子トイレ2ヶ所…ベースライト2基、ダウンライト4基 多目的トイレ…ベースライト1基 (3)正面玄関内側ドアの自動ドア化 木製開き戸を自動ドアに変更する。 ③西会津診療所	R3.4.1	R3.12.28	トイレや照明、ドアなど不特定多数の人が触れる箇所について、非接触型に変更することにより、患者と職員が新型コロナウイルスに罹患するリスクを減少させることになった。 (蛇口・トイレ等の7箇所・照明:9基・自動ドア:正面玄関)
3	単	介護施設等への自動検 温カメラ設置事業	1,138,500	1,138,000		500	①新型コロナウイルス感染症対策の強化 ②町有施設6施設に自動検温カメラ9台を整備する。 ③老健施設2台、介護センター1台、グループホーム1台、生活支援ハウス2台、小規模多機能施設1台、老人憩の家1台、こゆり子ども園1台	R3.4.1	R3.5.21	自動検温カメラを整備したことにより、重症化リスクの高い高齢者が感染するリスクを減少させることに寄与した。 (検温機能確認カメラ:9台)
5	単	感染症対策等の学校教 育活動継続支援事業	3,551,743	3,500,000		51,743	①学校が感染症対策等を徹底しながら、児童生徒の学習保障をするための取り組みを実施するに当たり、学校教育活動の円滑な運営を支援する。 ②(1)学校における感染症対策等支援 学校の教育活動継続に際して、密閉・密集・密接を回避し、児童生徒・教職員等の感染症対策に必要な物品の購入等に係る経費。 (2)子供たちの学習保障支援 児童生徒の学びの保障のため、感染症対策等を徹底しながら、感染の状況や児童生徒の状況に応じた学校での教育活動や家庭学習を実施する際に生じる経費を支援する。 ③小中学校及び給食センター	R3.4.1	R4.3.31	・感染リスクの高い教育現場で感染症対策等を支援したことにより、児童・生徒が安心して学校生活を通じることができる環境が整えられた。(校内消毒等) ・学習者用デジタル教科書を整備したことにより、コロナ禍による学級閉鎖等が生じても児童・生徒の学習機会が確保された。(英語を含む4教科)
6	単	子育てコミュニティブ リー 事業	143,000	135,000		8,000	①子育てコミュニティ施設(旧芝草保育所)における感染予防に必要な設備を整備し、乳幼児を持つ保護者等が安心して利用できる環境を整える。 ②検温カメラ ③子育てコミュニティ施設(町管理施設)	R3.4.1	R3.9.29	感染リスクの高い環境において、検温カメラを整備したことにより、利用者の体温を把握でき、乳幼児・保護者が安心して過ごせる環境作りがなされた。 (自動検温カメラ:1台)
7	単	避難所備蓄品整備事業	943,580	943,000		580	①大雨や地震等の影響による災害が発生し避難所を開設する場合に、避難者の十分なスペースの確保など新型コロナウイルス感染症に万全を期すことが重要であり、また、濃厚接触者用の避難所を一般の避難所と別に開設することから、パーテーションや防護服等の備蓄品を整備する。 ②コロナ対策に配慮した避難所運営をするための備蓄品の整備に係る経費 ③町指定避難所等	R3.4.1	R4.2.24	感染対策用品・避難所用食料等備蓄品を整備したことにより、近年多発する大規模自然災害に対する対策と新型コロナウイルス感染症の同時発生に対する対応手段が確立された。
8	単	一人暮らし高齢者等へ の弁当配達事業	3,523,000	3,500,000		23,000	①新型コロナウイルス感染拡大に伴い、様々な制限を受けている一人暮らし高齢者等に対して弁当を配達する。弁当配達時に健康状態の確認や相談の対応を行う。また、弁当を町内飲食店に注文することで、地域経済の活性化にも寄与する。 ②弁当代、民生児童委員への費用弁償、事務費 ③一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯の世帯員	R3.4.1	R4.2.1	一人暮らし高齢者世帯に対し、弁当配布を行ったことにより、コロナ禍で外出頻度が減少した高齢者の安否を確認することができる場を確保することができた。また、町内飲食店に発注することで、地域経済の活性化が図られた。

No	補・単	事業名	総事業費 (A) =(B)+(C)+(D)	交付金充当 経費(B)	国庫補助額 (C)	一般財源等 (D)	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業効果
9	単	「ふるさと西会津」帰郷者 学生応援事業【第2弾】	2,900,000	2,900,000			①コロナ禍によりアルバイト等が制限されるなど、厳しい生活を強いられることが予想される町出身の大学生又はその保護者を支援する。 ②大学生等1人当たり10万円の給付金 ③R3年3月高校新卒者で大学等に進学した者、並びに第1弾の給付金の給付を受けていない大学生等 ※大学生等…4年制大学、大学院、短期大学、専修学校、予備校	R3.4.1	R3.8.23	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、大学・短期大学をはじめとする学校に通う対象者に一律に給付を実施したことで、生活必要経費の負担軽減が図られた。(支給対象者:29名)
10	単	消費回復商品券	30,162,444	30,162,000		444	①新型コロナの影響で落ち込んだ個人消費の回復と町内経済の活性化を図る。 ②1人当たり5,000円(共通2,000円、小規模店限定3,000円)の商品券の配布、その他郵送等事務経費 ③全町民	R3.4.1	R3.10.18	新型コロナウイルス感染症の蔓延が続くなか、商品券事業を実施したことにより町民の消費低下と業者の経営不安の解消が図られた。
11	単	売上の減少した町内事 業者に係る一時支援金	1,000,000	1,000,000		0	①国の緊急事態宣言及び県の緊急対策期間における飲食店等の時短要請や不要不急の外出自粛により影響を受けた事業者で、国や県の一時金の対象とならない事業者等に町独自の支援を行うことで、事業活動の維持を図る。 ②令和3年1月又は2月の売上が前年同月比30%以上50%未満かつ10万円以上の減少があった事業者に対し、一時金として10万円を支給する。 ③町内事業者	R3.4.1	R3.7.26	コロナ禍で経営が悪化した町内業者に支援を実施したことにより、収入不安の解消につなげ、事業活動の維持が図られた。(町内10事業者)
12	単	西会津町農林業振興事 業(飼料用米緊急転換 支援事業)	2,538,000	2,538,000		0	①新型コロナウイルス感染症の影響により、主食用米の需要が著しく減少する中、福島県から配分された主食用米の生産数量目標の目安を達成し、米価の下落防止に貢献する。主食用米から飼料用米への3ヵ年継続した作付転換を強力に誘導し、需要に応じた米の生産を進めることで、米価の下落防止と農家の経営安定が図れる。 ②補助金3,000千円 ③令和2年度で主食用米を作付したほ場で飼料用米を3ヵ年継続して作付することを確約した農家	R3.4.1	R4.2.7	コロナ禍による主食用米の需要減少に対応すべく、飼料用米へ転換した農家に対し支援を実施したことにより、対象農家の経営安定が図られた。(10a当り15,000円、20ha分)
13	単	新規就農者あんしんサ ポート事業	4,000,000	4,000,000		0	①コロナ禍の影響が農業経営にも及ぶ中、新規就農者の施設及び機械等の整備を支援することで経営の安定化を図るとともに、町内における食料生産基盤の維持を図る。 ②機械設備導入に要する経費の50%以内の補助(上限2,000千円) ③認定新規就農者	R3.4.1	R4.1.12	初期投資に多額の費用が必要となる新規就農者に対し、本事業を実施したことにより、経営的不安の解消に寄与し、町の食料生産基盤の維持が図られた。
14	単	西会津町農林業振興事 業(有害鳥獣防除事業)	5,049,000	5,049,000		0	①有害鳥獣対策を強化し、食料生産基盤の維持を図る。新型コロナウイルス感染症対策の外出自粛等により、大規模な捕獲活動が難航しており、有害鳥獣等による農作物等への被害が拡大していることから、生産者を守り安定した生産体制を構築するため支援する。 ②電気柵設置経費への1/2以内の補助 ③農業者、集落	R3.4.1	R4.3.25	有害鳥獣被害対策として電気柵設置経費への補助を実施したことにより、農産物の被害が軽減し、町内農業者の不安解消と食料生産基盤の確保につながった。
15	単	西会津町デジタル戦略 推進事業	5,123,830	5,035,000		88,830	①「西会津町デジタル戦略」に基づく各種事業を実施することで、CATV高度情報通信基盤などの優位性を活かすとともに、デジタル技術の活用による地域課題の解決、行政サービスの向上、移住定住の促進など、新たな生活様式に対応した持続可能な社会の実現を目指す。 ②複業人材配置事業、町民参加型合意形成プラットフォーム構築・運営事業、各種申請・届出オンラインシステム運営協議会参加負担金、町民向けデジタル教室開催事業、自治体向けビジネスチャット導入事業、庁内デジタル機器運用経費 ③全町民	R3.4.1	R4.3.31	町デジタル戦略に基づき事業を展開したことにより、新しい生活様式に対応した行政サービスの基盤が構築された。
16	単	デマンドバス予約シス テム整備事業	9,465,720	9,465,000		720	①老朽化したデマンドバス予約システムを更新する。AIによるルート選定で運行時間の効率化(短縮)を図り、バスの位置情報を利用者へ提供することにより乗車場所での待ち時間を最小にすることができるため、コロナ禍において利用者の三密状態を軽減することができる。 ※令和4年4月から本格運行予定 ②デマンドバス予約システム開発費、実証運行に係る経費 ③全町民	R3.4.1	R4.3.31	デジタル技術(AI)を活用し、新しい生活様式に沿った利用者・事業者双方にとって効率的なデマンドバスの運行を行える体制が整備された。
17	単	テレワーク環境整備事 業	8,274,200	7,721,000		553,200	①まちなか再生拠点施設の2階部分を改修し、テレワークのできる環境を整備し、フリーランスの方などを中心にコロナ禍においても都市部以外で仕事のできる環境を整備し町中心街の活性化を図る。 ②工事費及び設計監理委託料 ③まちなか再生拠点施設(町管理施設)	R3.4.1	R4.1.31	コロナ禍、新しい生活様式の中で生活を送る方が利用できるテレワーク環境を整備したことにより、コロナウイルス感染拡大防止、まちなか再生拠点施設利用による、周辺地域の活性化に寄与した。(エアコン・照明の整備・各種電気配線の整備)
18	単	押印業務等見直し事業	2,640,000	2,640,000		0	①押印業務等の見直しを図り、行政事務のデジタル化や行政手続きのオンライン化を推進することで、行政手続きの非接触化が推進でき、新型コロナウイルス感染症対策ができる。 ②委託料(行政手続き等における書面規制、押印、対面規制の見直し支援業務) ③全町民	R3.4.1	R4.3.9	各種行政手続きの際に必要であった押印の見直しを実施し、各事務がオンライン等でできるようになったことにより、新型コロナウイルス感染症に感染するリスクの低減が図られた。

No	種 ・ 単	事業名	総事業費 (A) =(B)+(C)+(D)	交付金充当 経費(B)	国庫補助額 (C)	一般財源等 (D)	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業効果
19	単	デマンドバス予約システム周知及びPR事業	860,200	860,000		200	①交付事業№17のデマンドバス予約システム導入について、町民等に周知及びPRを図ること。交付事業№17の三密状態を軽減する目的をより効果的に実現することができる。 ②デマンドバス予約システム導入に係る周知に関する経費 ③全町民	R3.6.9	R4.3.16	新型コロナウイルス感染症の罹患リスクの高い密を回避するために整備したデマンドバスについて広報活動の実施により、町民の方(利用者)に対しデマンドバス利用の周知が図られた。 (パンフレット作製・WEBサイト改修等)
20	単	西会津診療所感染防止対策事業	1,945,900	1,900,000		45,900	①西会津診療所の待合室の引き戸を自動ドアに改修し、患者及び医療従事者の接触による感染を防止する。 ②待合室から検査室へ通じる木製引き戸を自動ドアに変更する。(2基) ③西会津診療所2箇所	R3.9.9	R3.11.11	診療所待合室内の自動ドア化により多くの人が接触する箇所を無くし、感染症に罹患するリスクの低減が図られた。 (診療所待合室自動ドア:2基)
21	単	デジタルサイネージによる感染対策情報伝達事業	2,014,100	2,000,000		14,100	①西会津診療所に情報伝達装置(デジタルサイネージ)を導入し、診察の待ち時間を利用して患者に新型コロナウイルスの感染症情報や効果的な対策、マスク着用や手指消毒の実施を促すなど効果的な注意喚起を行うことで、感染防止を図る。 ②受付会計待合室(32型1台、24型1台)、中待合室(24型3台)、データ制御装置、提供するデータの制御ソフトウェアライセンス ③西会津診療所	R3.9.9	R4.1.27	デジタルサイネージの導入により、感染症対策等の情報を伝達することが可能になり、町民の感染対策意識の向上が図られた。 (デジタルサイネージ用モニター:5台、ソフトウェアライセンス等)
22	単	小規模多機能型居宅介護施設「集いの郷」感染防止対策強化事業	1,723,700	1,700,000		23,700	①利用定員25名の小規模施設のため、共有のスペースや設備が多く、感染やクラスターの発生が懸念されることから、手洗い場の水栓を非接触型に更新し、感染防止対策の強化を図る。 ②非接触型自動水栓交換一式(12箇所) ③小規模多機能施設(高陽の里)(町所有施設)	R3.9.9	R4.3.3	重症化リスクの高い高齢者が利用する小規模多機能施設の水栓を自動化を実施したことにより、不特定多数の人との接触回数を減らすことができ、新型コロナウイルス感染症に感染するリスクの減少につながった。 (水栓自動化:個室用、備室以外の水栓合計12箇所)
23	単	老人憩の家施設「ミニサービス」感染防止対策強化事業	2,750,000	2,500,000		250,000	①ミニサービス事業を実施する老人憩の家施設では、感染リスクが高クラスターの発生も懸念されることから、施設に設置されたエアコンを換気機能付きの機種に更新し、感染防止対策の強化を図る。 ②天井吊型エアコン[81.54㎡ 約50畳]×2台 ③老人憩の家施設(町所有施設)	R3.9.9	R3.12.13	換気機能付エアコンへの更新により、重症化リスクの高い高齢者がコロナ禍でも安心してサービスを受けることができる環境を整備された。 (換気機能付エアコン:2台)
24	単	高齢者生活応援事業	5,577,070	5,500,000		77,070	①新型コロナウイルス感染症予防対策で、不自由な生活を強いられる75歳以上の高齢者に対して、生活支援を目的とした商品券(3,000円)を全員に配布する。 ②郵便料、商品券 ③高齢者	R3.9.9	R3.12.1	75歳以上の高齢者に対して商品券の配布を行ったことにより、コロナ禍で生活用品等の購入などの支出に対する不安を軽減することにつながった。
25	単	「ふるさと西会津」帰郷も学生応援給付金(第3弾)	5,200,000	5,000,000		200,000	①コロナ禍により高校生活が制限されるなど、学習や部活動等に支障が生じていることから、町出身の高校生又はその保護者を支援する。 ②高校生等1人当たり5万円の給付金 ③交付対象者 県立高校、私立高校、定時制高校、通信制高校 県立養護学校 など	R3.9.9	R4.1.4	新型コロナウイルス感染症の感染拡大が続く中、高校生を対象に一律に給付を実施したことで、生活必要経費の負担軽減が図られた。 (支給対象者:104人)
26	単	西会津ふるさとまつり(オンラインイベント)感染防止対策経費	3,000,000	1,155,000		1,845,000	①町内において新型コロナのワクチン接種が進んだため、地域の活性化を図る目的でイベントを実施する。その際、オンラインに係る経費や感染防止対策にかかる必要な経費を計上する。 ②オンラインライブ等における感染防止対策に係る経費 ③西会津ふるさと振興推進委員会への負担金	R3.9.9	R3.10.31	ふるさとまつりの実施に際し、オンラインイベント開催・感染防止対策を行ったことにより、ワクチン接種が進んだ中でも、新型コロナウイルスに感染するリスクを減少させることにつながった。
27	単	交通事業者支援金交付事業	2,250,000	2,250,000		0	①新型コロナの影響により業績が悪化している町内交通事業者に対し、事業継続のため支援金を交付する。(バス・タクシー事業者への支援金) ②・バス事業者:運行系統あたりの収入減少に対する支援 ・タクシー事業者:配置車両あたりの収入減少に対する支援 ③・バス事業者:会津乗合自動車株式会社 ・タクシー事業者:会津交通株式会社	R3.9.9	R4.1.4	町内交通事業者に対し、支援金を交付したことにより、町の重要な交通手段が存続し、町民の移動手段が確保された。

No	補・単	事業名	総事業費 (A) =(B)+(C)+(D)	交付金充当 経費(B)	国庫補助額 (C)	一般財源等 (D)	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容 ③事業の対象	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業効果
28	単	西金津町農林振興事業 補助金(水稲農家・米販 売農家支援事業)	6,150,000	6,150,000			①新型コロナウイルス感染症の影響により、外食需要の落ち込みから令和3年産米の価格が大幅に下落する中、離農や遊休農地の増加等を防止するため、水稲農家・米販売農家を支援する ② 0・対象農家:502名、対象面積:50,145a、支援単価:@5,000/10a @5,000/10a×5,014.5a=25,072,500円 振込手数料100,000円 ※No.29,30,31は同一事業のうちNo.29充当額6,150千円(事業者支援分) ③水稲農家・米販売農家	R3.11.22	R4.2.28	米関係農家に対し、支援を実施したことにより収入の安定化を図り、離農や遊休農地の増加防止が図られた。
29	単	西金津町農林振興事業 補助金(水稲農家・米販 売農家支援事業)	1,500,000	1,500,000			①新型コロナウイルス感染症の影響により、外食需要の落ち込みから令和3年産米の価格が大幅に下落する中、離農や遊休農地の増加等を防止するため、水稲農家・米販売農家を支援する ② 0・対象農家:502名、対象面積:50,145a、支援単価:@5,000/10a @5,000/10a×5,014.5a=25,072,500円 振込手数料100,000円 ※No.29,30,31は同一事業のうちNo.30充当額1,500千円(国のR2予算分) ③水稲農家・米販売農家	R3.11.22	R4.2.28	No.29と同様
30	単	西金津町農林振興事業 補助金(水稲農家・米販 売農家支援事業)	17,064,630	15,000,000		2,064,630	①新型コロナウイルス感染症の影響により、外食需要の落ち込みから令和3年産米の価格が大幅に下落する中、離農や遊休農地の増加等を防止するため、水稲農家・米販売農家を支援する ②③ 0・対象農家:502名、対象面積:50,145a、支援単価:@5,000/10a @5,000/10a×5,014.5a=25,072,500円 振込手数料100,000円 ※No.29,30,31は同一事業のうちNo.31充当額17,523千円(国のR3予算分) ③水稲農家・米販売農家	R3.11.22	R4.2.28	No.29と同様
31	単	「こゆりこども園」感染防 止対策強化事業	1,980,000	1,980,000			①冬期期間、特に室内での活動が多くなるため、新型コロナウイルス感染対策として、ウイルス除去対応の空気清浄機を導入し、児童の安全・安心を確保する。 ②こゆりこども園にウイルス対応型空気清浄機を導入する。 ③認定こゆりこども園の児童	R3.9.9	R3.11.24	感染リスクの高いこども園に空気清浄機を導入したことにより、児童が安心して過ごすことができ、保護者の安心にもつながった。 (ウイルス対応型空気清浄機:16台)
合計			141,219,491	135,971,000	0	5,248,491				